

令和5年度第14回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和6年3月1日（金）午後1時32分～午後3時30分
2. 会場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉山浩幸 生涯学習部長 三上正洋
職務代理者 馬場千晶 学校教育課長 須藤友章
委員 加藤洋之 社会教育課長 千葉真奈美
委員 多田千鶴 合宿の里・スポーツ推進課長
徳竹貴之
- 欠席 山田敦久 委員

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

午前中は東高校の卒業式、お疲れ様でした。寒かったが感動的な式だと感じた。

2月10日には陸上自衛隊音楽隊による演奏会が開催され、士中・南中の吹奏楽部員とのコラボレーションも披露された。

元武徳小学校の校長先生が、高齢者叙勲を受章され、伝達のため2月16日にご自宅を訪問してきた。

2月19日に士別小学校で開催した「こども夢トーク」では、子どもたちから市長や私に様々な提案がされ、その内容に感心させられた。

2月22日には管内社会教育委員連絡協議会表彰の受賞報告会を行い、その後に社会教育委員の会議を開催した。また、「士別絵本でつなぐまちづくり実行委員会」が管内教育実践表彰を受賞し、上川教育局長から伝達された。実行委員会では、本年も5月27日に絵本ツアーを開催する予定とのことである。

昨日は、部活動地域移行に向けた学習会を開催し、北海道教育庁学校教育局部活動改革推進課の三浦主幹から先進地の事例などについて説明いただいた。

今週の月曜日には、福岡県の小学校で給食が原因と疑われる事故により児童が亡くなるという痛ましい事案が発生した。これを受け、文科省や道教委から迅速に通知が発出され、各学校に周知したところである。他の自治体では、原因とみられる「うずらの卵」の使用を取りやめた例もあるようだが、本市では使用する予定がなかった。これまでに本市の給食による窒息事故は発生していないが、給食センターから安全な食べ方について指導していく考えである。

本日の議案第37号は秘密会とするため、最後に審議いただくので、よろしく願います。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第31号 「自己開示情報に関する審査請求」について説明を求める。

○千葉課長

本件の経緯については前回の会議で説明したとおりだが、2月7日と26日に開催された士別市個人情報保護・情報公開審査会において別紙資料のとおり答申をいただいたところである。答申について、

「審査庁の意見は妥当である」との結論とあわせ、「丁寧な対応が望まれる」などの付帯意見もいただいた。

○泉山教育長

丁寧に扱っていなかった訳ではないが、相手の意識に立って、より丁寧な対応が望まれるということである。

○加藤委員

書類の保存期間について説明しておくべきだったのではないかと。相手の受け取り方によっても印象が違ふと思う。

○千葉課長

申請者が納得せず、不服申し立てした場合は裁判となる可能性がある。

○泉山教育長

議案第32号 「令和5年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○須藤課長

本件は、市議会第1回定例会の最終日に提案を予定しているものである。内容は、工事等の入札による執行残や、対象者の減少などにより100万円以上の予算が残る場合に減額の処理を行う。

○泉山教育長

就学援助事業について、本市では認定者の割合が他の自治体よりも低いように感じる。認定の対象となる家庭であっても、申請しないケース等があるのだと思う。

○泉山教育長

議案第33号 「士別市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○須藤課長

現在、外国語指導助手の年次有給休暇は、勤務初日に10日付与されているが、他市では20日付与している例もある。慣れない環境のなかで各種手続きを行わなければならないことや、体調不良のため受診する場合もあるため、本市でも20日付与することができるよう規則を改正する。

○泉山教育長

20日になれば、市職員と同じ取扱いとなる。

○加藤委員

海外ではバカンスに出かける習慣などもあり、我々とは考え方が違ふと感じることもある。休みを満喫し、リフレッシュして指導にあたってもらいたい。

○泉山教育長

勤務に差し支えない程度に有効利用してもらいたいと思う。

○泉山教育長

議案第34号 「士別市立学校管理規則の一部を改正する規則」および、議案第35号 「士別市立小学校及び士別市立中学校事務主幹設置基準の一部を改正する基準」について一括して説明を求める。

○須藤課長

今回は学校に配置することができる事務主幹に関して改正するものである。学校管理規則では「士別市立小学校及び士別市立中学校」と標記しているが、「学校」に改正する。また、本市で事務主幹を置くことができる学校として南小学校と南中学校の2校を定めていたが、令和元年度末の時点で学校数が減少したことにより、配置可能な学校数は1校だけになることから、基準を改正するものである。

○馬場教育長職務代理者

単に「学校」としてしまうと、高校も含まれると思うのではないか。

○須藤課長

東高校については、市職員の「事務長」が配置されている。道費の職員が配置されることはないため、混乱しないものと考えている。

○泉山教育長

このように改正してよろしいか。(全員了承)

○泉山教育長

議案第36号 「士別市教育委員会が保有する個人情報の取扱いに関する規則の制定」について説明を求める。

○須藤課長

これまで、教育委員会が保有する個人情報について、取扱いに関する規則を定めていなかったため、新規制定するものである。取扱いについては、市が定めた施行細則などに基づくこととなる。

○千葉課長

本年度、個人情報保護・情報公開審査会は、先ほどの教育委員会関連の事案以外に1回開催されたと聞いている。近年はあまり審査会を開くケースはないようだ。

○泉山教育長

突然請求が来るとあたふたしてしまう。取扱いの判断も難しい。

3 その他

◇令和6年第1回定例会大綱質疑について

須藤課長説明。

○泉山教育長

大綱質疑だが、思ったよりも細かい内容を聞かれている印象がある。

◇スポーツ関連の規則改正について

○徳竹課長

児童・生徒大会参加交通費助成事業については、申請者や事業者にもわかりやすく改正した。市民スポーツ振興事業については、市外の高校に通学する生徒と、市に所在を有する社会人団体も対象とすることとした。施設使用料の減免については、利用団体が不利益を被らないよう配慮している。

○泉山教育長

説明があったとおり、わかりやすく改正されて良いと思っている。

○加藤委員

大会に参加した場合、終了時間を見通せないことが多いと思う。

○馬場教育長職務代理者

場合によっては高速道路が通行できなくなる可能性もある。市外に下宿している高校生に対する奨励費については、保護者が本市に住民登録していれば対象としてはどうか。

○泉山教育長

気持ちとしては対象にしてあげたいが、苦肉の策として通学している生徒までと考えている。

○加藤委員

予算のこともあるので悩ましい。

○徳竹課長

対象としてあげたいが、どこかで線引きしなければならない。市内在住で通学しているという条件でどうかと思っている。

○泉山教育長

限られた予算を有効的に活用していくことが大切となる。

○馬場教育長職務代理者

金融や経済に関する「エコノミクス甲子園」という大会があり、地区大会は北海道銀行が主催している。地区大会を勝ち抜いた場合、全国大会もあるが、このような大会も奨励費の対象になるのか。

○泉山教育長

開催要項を見て判断することになる。

○加藤委員

e スポーツの申請も想定されるのではないか。

○馬場教育長職務代理者

愛媛県松山市では俳句甲子園も開催されている。

○泉山教育長

下宿者については残念ではあるが対象としないものとする。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○泉山教育長

最後に、議案第37号 「令和6年度士別市学校教職員の人事異動」について説明する。

午後3時06分 秘密会を宣する

午後3時30分 秘密会を解く

午後3時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山浩幸

会議録調整者

須藤友章